



2016年6月23日

株式会社アドバンスト・メディア

音声認識技術 **AmiVoice®** を活用した議事録作成支援システムの 自治体導入実績が累計 100 件を突破

～クラウドサービスの導入が加速。安価かつ手軽にシステム導入が可能に～

株式会社アドバンスト・メディア（本社：東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：鈴木清幸 以下、アドバンスト・メディア）の音声認識技術 **AmiVoice** を活用した、議事録作成支援システムの自治体への導入実績が累計 100 件を突破したことをお知らせいたします。

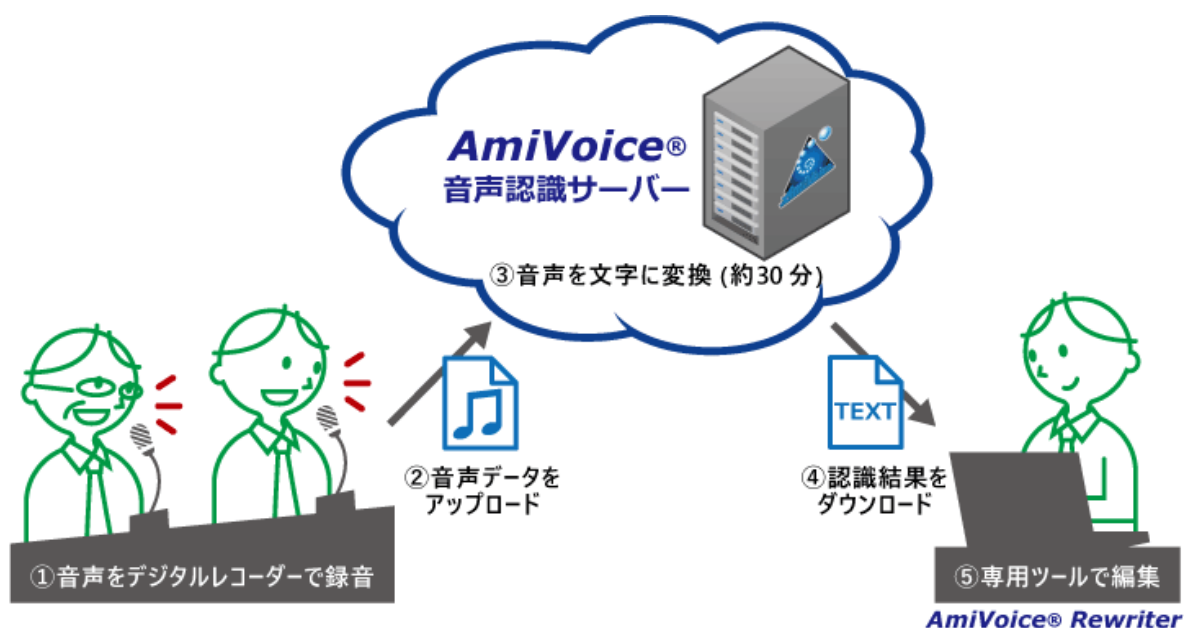
アドバンスト・メディアでは、2004年6月に静岡県沼津市役所にて本格運用を開始して以来、東京都議会、北海道議会、兵庫県庁など、これまで日本全国の自治体に議事録作成支援システムの導入を行ってまいりました。

自治体の抱える課題である、議事録作成の業務効率化と経費削減の双方に効果的であることや、速記者の減少という社会背景などから、音声認識技術を活用した議事録作成支援システムのニーズは年々高まっています。特に近年では、短期間かつ低コストで導入・運用開始ができるクラウドサービスの導入が増加しています。クラウドサービスは、月額8万円（税抜）の定額制のため、小規模な市町村にもご好評を頂いています。

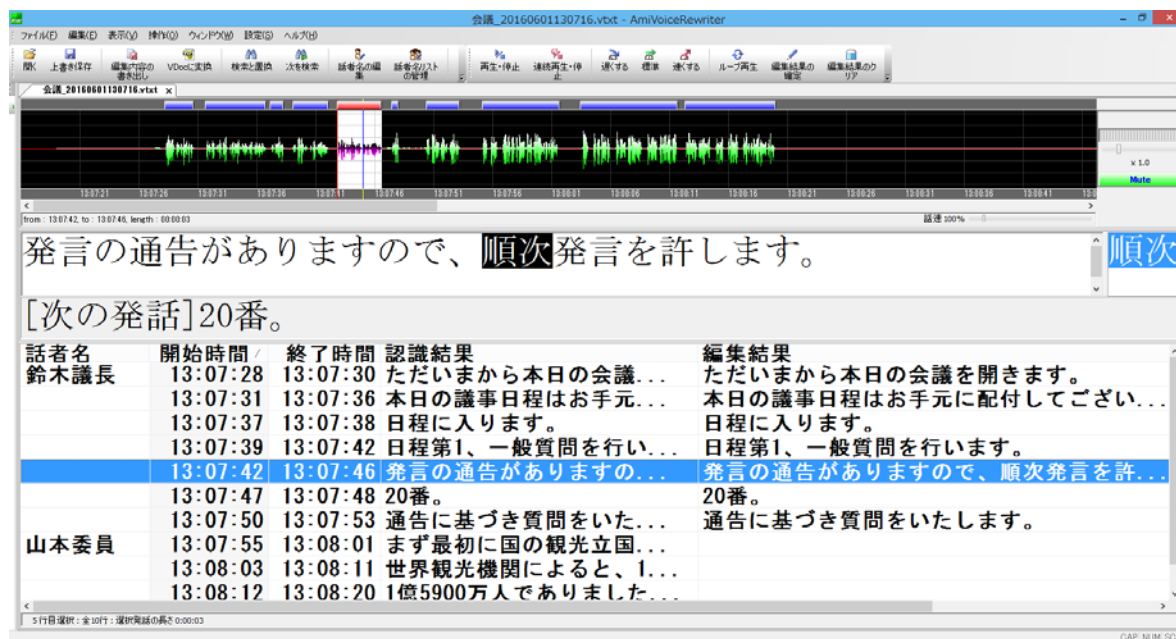
会議の音声をデジタルレコーダーで録音し、専用サーバーに音声をアップロードすると、約30分で音声認識結果が戻ってきます。認識結果は、音声データと紐づけされており、専用の編集ソフト「**AmiVoice Rewriter**（アミボイス リライター）」で、音声を聞きながら誤認識部分の修正・編集が簡単かつ効率的に行えます。従来の文字起こし作業に比べ2～3倍の早さでテキスト化が行えるため、議事録作成の時間と人的負担を大幅に短縮し、素早い情報開示が可能になります。

パッケージ製品の価格は280万円(税別)～で、こちらは自治体専用の音声認識辞書の構築費用を含みます。会議と同時進行でのリアルタイム音声認識や、全庁での利用などにご好評を頂いています。

【議事録作成支援システム、クラウドサービスの運用イメージ】



【AmiVoice Rewriter イメージ】



アドバンスト・メディアでは、これまで37都道府県への自治体に議事録作成支援システムを導入いたしました。業務効率化によるコスト削減など、全国自治体のニーズにお応えするような顧客サービスの提供・開発に更に力を入れ、今後3年間で47都道府県への導入拡大目指します。

以上

【会社概要】

<株式会社アドバンスト・メディア>

- 代 表 者 : 代表取締役会長兼社長 鈴木 清幸
- 本 社 : 東京都豊島区東池袋3-1-4 サンシャインシティ文化会館6階
- U R L : <http://www.advanced-media.co.jp/>
- 設 立 : 1997年12月
- 資 本 金 : 49億7,309万円(15,929,405株)(2016年3月末現在)
- 事 業 内 容 : ◆AmiVoiceを組み込んだ音声認識ソリューションの企画・設計・開発を行う「ソリューション事業」
◆AmiVoiceを組み込んだアプリケーション商品をライセンス販売する「プロダクト事業」
◆企業内のユーザーや一般消費者へAmiVoiceをサービス利用の形で提供する「サービス事業」

【本件のお問い合わせ】

報道関係	お客様
経営管理部 広報チーム	VoXT(ボクスト)事業部
TEL:03-5958-1307	TEL:03-5958-1035
FAX:03-5958-1032	FAX:03-5958-1033
E-mail: press@advanced-media.co.jp	E-mail: info@advanced-media.co.jp